

子どもの成長発達を促すために必要な

童具についての考察(3)

——西ドイツ製玩具・プレイモビルを利用しての

実践報告 遊園地ごっこを中心に——

芸術教育研究所
おもちゃ研究室

◆実践報告Ⅲ◆

前号にひきつづき十月、十一月の実践報告を

プレイモビルを使った実践も、半年を経過する頃から、各園での子どもたちや保育者の個性が、より発揮され、活発な保育展開がされるようになってきました。

今回の実践報告はそのような時期にあたる、十月、一月初めにかけての各園における実践を、年令別に集約する形でまとめていきます。

主たるテーマは、遊園地作りと遊園地の遊び・クリスマスの訪れ・旅の終わりということとしていますが、各園の園の行事や子どもたちの様子に応じて、柔軟なテーマで実践されています。

■一歳児

——M保育園

〈遊園地との出会い〉

○保育者があらかじめ、遊園地のプレイモビルをセッ

ティングして、それぞれの遊具の上から白布をかぶせておく。子どもを、セッティングしてある部屋へ誘導

し、布をめくっていきながら、それぞれの名称を言っ
てやり、興味づけていく。子どもたちは、一様に驚
き、モビルの中にとびこんでいく。ジェットコース
ターを触ろうとする子がほとんどだが、電車に注目
し、床を走らせて遊ぶ子どももいた。

○後日、再び遊園地セットで遊ばせる際には、音楽を流
してあげた。音に合わせて、楽しく遊べた。

〈お遊戯会を終えて人形を作る〉

○プレイモビルの船を導入として使いながら、子どもた
ちを別室（南の国）に誘い、そこで遊園地遊具を使っ
て遊んだり、人形をハメハメハ大王に変身させて遊ん
だりする。ハメハメハ大王は、つい先日のお遊戯会
で、子どもたちが取り組んだなじみ深いものである。

■二歳児

—M保育園

〈音楽にのって遊園地で遊ぶ〉

○遊園地の写真を見せながら遊園地づくりをさせてい
く。音楽（イッツアスモールワールド）をかけると、
実際に遊園地へ行ったことのある子がリードする形
で、見たてごっこが始まる。動物のプレイモビルを登
場させ、ダンボに見たてたり、パレードを行ったりす
る。



○後日、同様の展開をした際には、ブロックとの併用を行い、より広がりのある遊びへと展開した。

— A 保育園

〈画用紙の上に遊園地を作る〉

○保育者が道や芝生を描いた画用紙を広げてやり、遊園地作りを促すと、紙の上に遊具を配置し、興味をもってくる。さらに、子どもたちそれぞれが自分の人形を持ってきたり動物を参加させ、動かしたりして遊ぶ。

〈公園で遊ぶ—動物かくれんぼ—〉

○保育者があらかじめ、公園に向き、動物のプレイモビルをかくしておく。動物が迷子になったから捜しに行こう”と子どもたちを促して、公園へ連れていく。“さるさーん”などと名前をよびながら、草かげなどにかくれている動物たちを捜す遊びに熱中した。

— B 保育園

〈ペープサートを使って遊園地遊ぶ〉

○子どもたちが慣れ親しんでいる動物を船にのせ、二階の部屋から運んでくる。あらかじめジェットコースターと門を設置しておき、運んできた船を門の前に置く。子どもたちは動物を船から降ろし、遊具で遊ばせたり、門を何度もくぐらせたりして遊ばせる。さらにおおかみとこぶたのペープサートを持ち出し、プレイモビルの中で追いかっこをして遊び始めた。

■三歳児

— H 保育園

〈戸外で遊園地作りをして遊ぶ〉

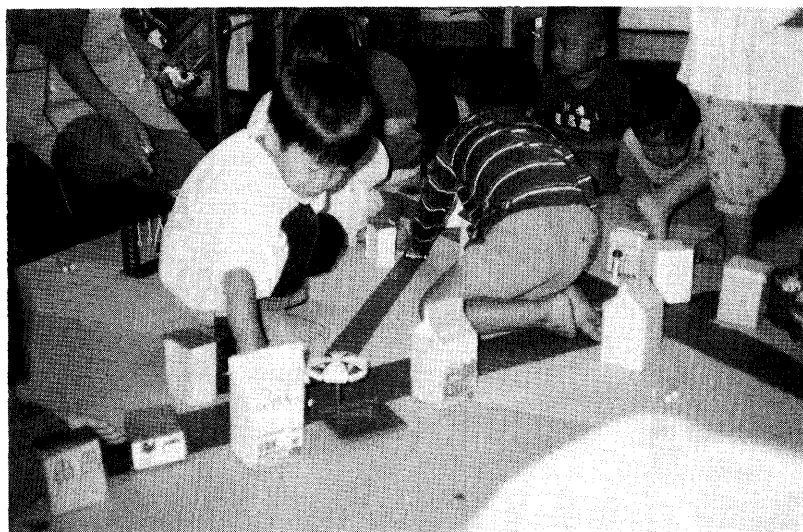
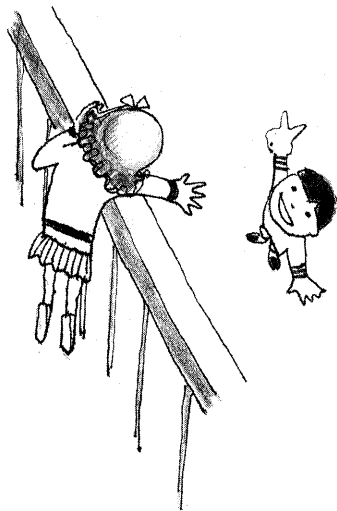
○パッケージの写真を見ながら、遊園地セットの遊具を組み立てていく(室内)。翌日、完成した遊具を持ち出して、戸外で遊ぶ。それぞれが持っている人形を遊具のせて遊ぶ。順番にやるというルールが守れず

ケンカする子もいたが、子ども同士で会話しながら遊んだ。

〈画用紙に街を作って遊ぶ〉

○子どもたちに、街の道の様子を思い出させ、ラシヤ紙にかかせる。数枚の紙をつなげて貼り、その上に、遊園地や人形のブレイモビルをのせて、遊園地遊びをしたり、街に描かれたお店に人形を行き来させて買い物ごっこをしたりする。

〈写真①・②〉



▲ 写真① 街を作っていく（三歳児）



▲ 写真② 大きな広がりのある街の中で遊ぶ（三歳児）

■ 四歳児

— T幼稚園

〈さまざまな素材を組み合わせて遊ぶ〉

遊園地セットと人形を使って、ごっこ遊びに取り組ませる中で、他の素材を組み合わせて遊ぶやり方を促し、発展させていった。

○机や椅子を組み合わせ「基地」に見たて、プレイモビルの人形を出入りさせる。
〈写真③〉

○ブロックを乗物に見たて、人形や遊具の移動に使う。
〈写真④〉

○ブロックで波を作り、海の波の様子を表現して、その中に船を配置した。
〈写真⑤〉

○色積木で会場を作り、遊園地を配置し、新しい遊具としての感じを出して遊ぶ。

○粘土で動物を作り、プレイモビルの遊園地や動物園に加え、ストーリー性のある遊びを展開する。

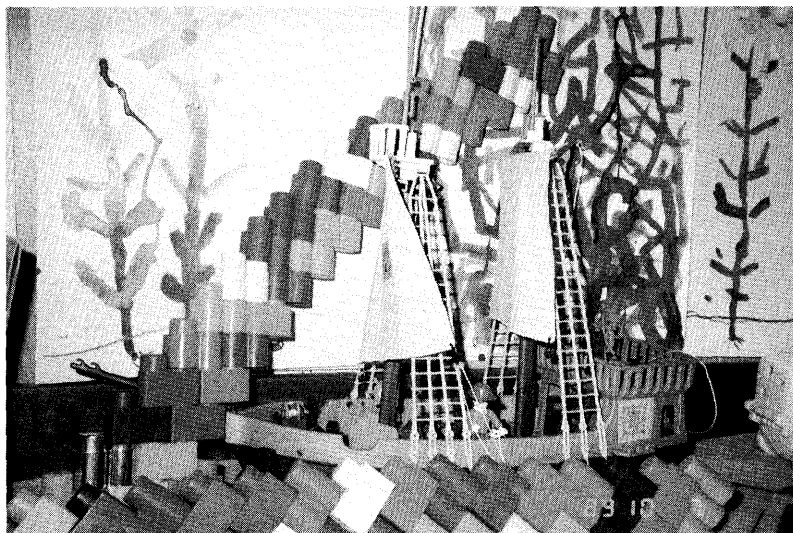
○空箱類を利用して、海賊グッズ（双眼鏡や宝箱など）

▶ 写真③ 机の下に基地を作っている (四歳児)



◀ 写真④ 動物をブロックで作った電車にのせて移動する (四歳児)





▲ 写真⑤ ブロックで、海や波を表現した（四歳児）

を作ったり、ビニール製の服を着て、遊ばせたりした。

○紙を使って、バッグやお金を作らせ、プレイモビルおもちゃの買い物ごっこを楽しむ。

— S 幼稚園

〈プレイモビルを使った知育遊び〉

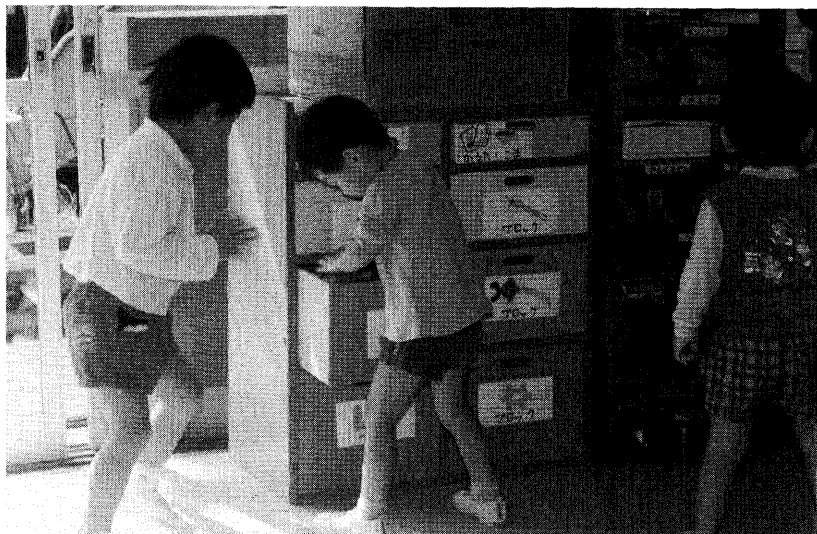
○動物や遊園地のプレイモビルがいくつかあるか、数えさせる。子どもたちは興味をもって、「一つ、二つ……」と声をあげる。

○プレイモビルを室内のどこかに隠し、それを見つけて遊びをさせる。（隠す側と見出す側は交互に交代する。）

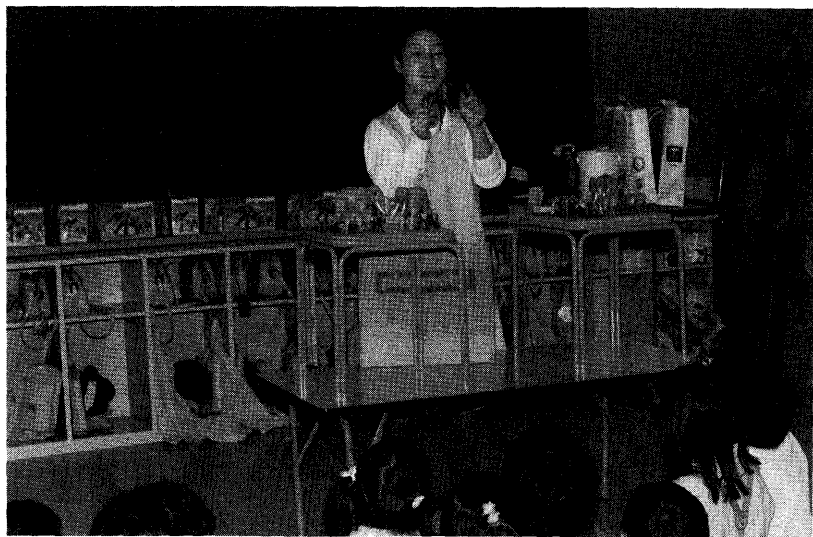
〈写真⑥〉

○保育者がプレイモビル（主に動物）を10個用意し、布で隠しながらその内の一部を移動させ、見えないところに置く。残った動物の数から判断して、移動したのはいくつだったか、みんなで当てるゲームをする。子どもたちは夢中になって取り組む。

〈写真⑦〉



▲ 写真⑥ 隠してあるプレイモビルを一生懸命さがす



▲ 写真⑦ さてさて、いくつ隠れたのかな？ 質問する保育者と興味津々の子どもたち

■五歳児

— S 幼稚園

〈遊び空間を広げ、子どもたち自身の中に入って遊ぶ〉

○画用紙にクレヨンで芝生を描いたり、青シートで、周囲に海を作る。緑の色画用紙を使って円すいの木を作り、スペースの中に配置し、子どもたち自身もそのスペースの中に入り込みながら、プレイモビルを使って遊ぶ。

〈実際の遊園地へ出かける〉

○子どもたちを実際の遊園地に連れていき、本物の遊園地遊びを体験させる。

○その後、続行中の遊び空間に戻ると、ミステリーカーなど、新出の遊びが出現した。又、空間内でお弁当遊びを始める子どもたちがいた。また、これまで登場していなかった、遊園地で働く人が登場した。

〈クリスマスマスをテーマにする〉

○子どもたちが中心となって、クリスマスツリーに飾り付けをする。遊園地に流す音楽の録音を行う。紙で作ってある木に、クリスマスデコレーションを施す。こうしたことにより、プレイモビルで構成された島全体をクリスマスマスの雰囲気で包み、盛り上げをはかる。同時に、子どもたち自身も歌遊びなどをして、クリスマスを楽しむ。

— つづく —